

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会

平成 30 年度 第 3 回理事会 議事録

開催日時：平成 30 年 8 月 10 日（金）午後 6：30 から

開催場所：技師会事務所

出席者：藤本、森（さ）、斎藤、松原、後藤、浅野、外川、松浦、松本、長谷部、川合、乙訓（代理）、中村、土屋、兼平、羽柴、渡邊、佐藤、澤野、柴、森（晴）

欠席者：熊崎、高崎、糸山

議長：浅野敦会長

議事録：後藤庶務部長

#### 【各種連絡事項】

議長：浅野敦会長により進行された。

#### 【庶務部長より】

##### 1. 岐阜県臨床検査技師会より連絡

- ・会議等による技師会事務所使用の申し込み方法変更について

HP にも掲載してあるが、技師会事務所を使うにあたり、今までは会員であっても使用願の提出をしていた。もともとは、外部の方が使用する際のために事務所使用願を作成したため、今後会員が事務所を使用する場合に限り、事務所使用願の提出は省略することとなった。今後事務所を使用する場合には、空き状況の確認のうえ空いていれば使用してもらってもよい。（浅野会長）

##### 2. 日本臨床衛生検査技師会より連絡

###### ① 会費の送金について

平成 30 年 5 月締め分、会費集金処理ができ会費の送金があった。

送金内訳

平成 30 年度会費 10,000 円×15 名=150,000 円

平成 30 年度入会金 500 円×12 名=6,000 円

平成 30 年度再入会金 なし

送金合計額 156,000 円 以上の会費送金があった。（後藤庶務部長）

###### ② 平成 30 年度「生涯教育推進研修会助成金」の送金について

・平成 30 年度「生涯教育推進研修会助成金」の送金として 280,000 円の送金があった。（後藤庶務部長）

・いろいろな研修会の開催ありがとうございました。各研修会に助成金が付き入金されました。（浅野会長）

###### ③ 平成 30 年度定時総会議決権行使書回収手数料の送金について

・定時総会議決権行使書回収手数料送金内訳として受領率 61.25%、有効受領数 509 件×50 円=25,450 円の送金があった。（後藤庶務部長）

・受領率は 2/3 を超えると一人当たり 70 円になる。今回は 61.25%のため 50 円だった。理事の方は都道府県技師会サイトにアクセスする権限を持っているので、各施設の投票率も把握できる。意外と大きい施設の回収率も良くない。自分の施設で該当するのであれば、特に役員改正の時など 2/3 以上が必要になるため、より 2/3 を超える働きかけをお願いします。（浅野会長）

・携帯電話でも閲覧可能（佐藤精度管理部長）

###### ④ 検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の受講促進のお願い

・平成 30 年 7 月の岐阜県の検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の現状として、平成 30 年 6 月の受講者 1 人、7 月の受講者 0 人。平成 30 年度の修了者 13 人。平成 29 年度までの修了者 643 人。修了者合計 656 人。会員数 858 人。修了率 76.5%。未修了者 202 人であった。（後藤庶務部長）

・修了率は全国で比べても良い方であるが、これ以上は伸びないと思われる。ただ、来年度までの新卒者までは、受講の対象になるため受講の案内をよろしくお願いします。（浅野会長）

⑤ 自然災害による被災会員に対する共催金等の支給申請手続き等について

・今回は7月の豪雨があり、当会員も被災された方がみえるため届出用紙を出すことになった。各地区で自然災害が起きた場合、会員に被災があった場合には速やかに届出をすれば、協賛金が支給されたり、会費の減免があったりするので案内をお願いします。また、HPにも掲載されているので、一度目を通しておいてください。（浅野会長）

⑥ 平成30年7月豪雨の発生に伴う医療関係職種等の国家試験の受験資格並びに学校、養成所及び養成施設の運営等に係る取扱いについて

・今回の7月豪雨の発生に伴い既定のカリキュラムが行えないとともあるかもしれない。（岐阜医療科学）大学にも通知が着ているか？高崎さんにはメールを送った。（浅野会長）  
・高崎さんに伝えます。（乙訓理事代理）  
・岐阜医療科学大学と東海学院大学に同じ資料を送った。また、HPにも掲載されている。（浅野会長）

⑦ 平成30年度 災害対応能力向上研修会の案内

・災害対応の研修会が行われる。人気があり定員になり締め切られているかもしれない。以前にもHPに掲載をした。来年度も同様な研修会があるかもしれない。あった際はぜひ参加してもらえればと思います。研修会内容には目を通しておいてください。（浅野会長）

⑧ 「地域ニューリーダー育成研修会」の受講申請及び推薦について

・地域ニューリーダー育成研修会は4年前から始まっていて、毎年各県より1人ずつ派遣していた。4年が終わりもう1step上げたものを研修会として行うもの。過去に研修会に参加した4名の中から1名を選出という事なので、今回は柴さんに行ってもらうことになった。宿泊費は都道府県の技師会が負担することになっている。（浅野会長）

⑨ 全国「検査と健康展」におけるポスター等作成にあたる留意点について

・12月2日に行われる「検査と健康展」にて作成される広告等の媒体には共催団体および後援団体名を明記するようになっている。また、本日日臨技より配布物が送付されたようなので常務理事会で説明をお願いします。（浅野会長）

⑩ 「宮島よしふみ通信」の配布について

・今回当技師会に100部送られてきた。8月の定期便で各施設に1部ずつ配布をさせていただきます。施設内で回覧をお願いします。また、参議院議員の渡辺たけゆき氏の活動報告「たけのこ通信」も一枚送られてきたので今回理事に回覧します。希望の方は配布します。（浅野会長）

3. 岐阜県庁より

① 岐阜県健康福祉部より「第47回医療功労賞」候補者の推薦について

・毎年依頼がある。表彰の対象のハードルが高いため、今回はこちらの判断で該当者なしとした。もし、候補者の推薦があれば一報お願いします。（浅野会長）

② 岐阜県健康福祉部医療整備課より公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰候補者の推薦について

・表彰の対象は、「健康増進、疾病予防、生活衛生、衛生教育等の諸業務における功績が特に顕著である個人又は団体。技師会でいうと公衆衛生事業に従事した年数が20年以上又は団体の役員歴が10年以上であり、年齢が50歳以上であること」などという条件がある。来年に向けて、組織調査部の方で10年以上の役員歴がある会員の調査をお願いします。今回は該当なしとします。（浅野会長）

③ 岐阜県総務部県庁舎建設課より県庁敷地内の広域排水路改修工事に伴う地盤変動影響調査の協力依頼について

・県庁の建て替えにあたって排水路の工事が行われる。岐臨技事務所が地盤変動の影響があるかもしれないという対象になっている。今の状況から工事後に損傷があれば修復費用請求できる。実際、8月3日に立ち入り調査を行った。工事完了後に損傷発生の確認をする。

また、工事に伴い駐車場が変更されるかもしれないので、後日たねむらさんから駐車場の案内の連絡をしてもらう。（浅野会長）

4. 武儀医師会より

① 後援お礼並びにご協力依頼について

・毎年要請がある。武儀医師会からチケット（30枚）とチラシ（100枚）が届いた。チラシに関しては定期便で各施設に発送をした。チケット（講師：原千晶氏）は希望者があれば本日配布します。なければ中濃地区の方に配布します。（浅野会長）

5. 岐阜県赤十字血液センター

① 岐阜県輸血療法講演会における後援名義の使用について

・毎回要請があり、後援名義の許可は出している。（浅野会長）

6. 関市市民健康課より

① 平成30年度市政功労者表彰等の候補者の推薦について（依頼）

・毎年依頼はきている。中濃地区と検討したが該当者なしという事で返答した。今後、該当者がいるようでしたら連絡をお願いします。（浅野会長）

7. 幹事会より報告

① 平成30年度 日臨技中部圏支部幹事会報告

・（浅野会長が参加された。）今回役員が変わるという事で、支部長は引き続き山本幸治氏（三重県会長）。副支部長は浅野敦氏（岐阜県会長）に交代。学術部長に中根生弥氏（愛知県会長）となった。また、平成30年度支部研修会の予定が決まっている。

輸血・細胞治療部門：10月6～7日 愛知県担当

病理・細胞部門：12月22～23日 富山県担当

検査総合部門：研修会開催なし

遺伝子・染色体部門 富山県担当（会場は名古屋）

臨床生理部門：2月9～10日 愛知県担当

臨床血液部門：12月8～9日 富山県担当

臨床一般部門：1月12～13日 愛知県担当

臨床微生物部門：11月3～4日 石川県担当

生物化学分析部門：12月8～9日 岐阜県担当 岐阜大学サテライトキャンパス

岐阜県の担当は、生物化学分析部門12月8日、9日に行われるという事です。研修会の当日挨拶について、今までは担当県の会長が行っていたが、支部長の挨拶を希望し支部長の都合がつけば挨拶をしに行くとのこと。学術部長から部門に案内をお願いします。

平成30年度 中部圏支部医学検査学会（三重）6/30での状況として、一般演題目標数は120題だが、105題にとどまっていた。その後7/7まで延長になり、学術部長の協力も得て岐阜県から3～4題の追加になった。Totalとしても一般演題は120題を超え感謝の言葉を頂いた。懇親会の余興として各県から1人選出してもらいカラオケ大会を行うこととなった。岐阜県から1人（1組）選出するが候補者の心当たりはあるか？（浅野会長）

・あらかじめ選出者を決めておいた方がよいか？中部圏支部学会実行委員の会議で決めるのはどうか？（乙訓理事代理）

・あらかじめ決めておいた方がよい。また、若いの方が盛り上がる選曲をしよう。各施設でも打診し候補があれば連絡をお願いします。（浅野会長）

・もう一つ、各県名産品（5000円相当）を持ち寄り、じゃんけんゲーム（会長が名産品のコメント）の企画もある。岐阜から名産品の案はあるか？万人受けするもので岐阜の名産品。（浅野会長）

・候補として、富有柿、鮎菓子、サルぼぼセットや岐阜県グッズの詰め合わせ、五平餅などが候補に上がった。

・来月の常務理事会で協議するため候補があれば連絡をお願いします。（浅野会長）

・来年度（2019年）参議院議員選挙がある。検査関係から、日衛協 小川真史氏（SRL取締役会長）が立候補候補者として挙がっている。前回宮島会長が出馬した時には、日衛協から支援を頂いたのでも、技師会として今度は小川氏を推していくことになる。宮島会長

の時は病院まわりをしていたが、今回病院まわりは難しいので研修会や理事会を利用して挨拶にまわる予定。日程が決まれば連絡する。(浅野会長)

・技師連盟について：楢山会長から技師連盟に加入してほしいという要望があった。1口3000円(平成31年から1,000円から3,000円に変更)ですが、理事の方を含め加入の協力をお願いします。(浅野会長)

・自民党入党について：一般党員4,000円、家族党員2,000円となっている。前回の常務理事会の時には、常務理事にはお願いをした。各県目標が20名という事なので理事の方も協力をお願いします。(浅野会長)

#### 【岐阜地区より】

##### 1. 岐阜市民健康まつりについて

平成30年11月4日(日)に岐阜市文化センターにて第39回岐阜市民健康まつりを行う。それにあたって平成30年7月12日に企画会議を行った。検査項目は昨年同様、尿検査、血管年齢、頸動脈超音波となった。理事会後、スタッフも40名程度募集する。予算に関しては、ダイナパルスレンタル料(血管年齢)、消耗品費(ウロペーパー、尿用コップ)、食卓費、日当など。スタッフ募集に関して、募集期限は9月28日(金)まで。協力してもらえる岐阜県の会員の方にお知らせする。今回頸動脈エコーがあるため、スタッフ募集用の申し込み用紙の最後(右端欄)に頸動脈超音波検査が担当可能かの欄も作成した。各施設声掛けをお願いします。(森さゆり副会長)

・内容等は昨年と同様という事です。よろしくをお願いします。(浅野会長)

#### 【西濃地区より】

##### 1. 6月10日に行われた春季拡大研修会の事業報告と収支報告

・事業報告：今回は生物化学分析部門及び臨床一般部門が担当で『急性腎障害(AKI)を考える』サブタイトルとして研修会を行った。生物化学分析部門から岐阜大学附属病院 高次救急治療センター臨床講師の鈴木 浩大先生、臨床一般部門からは北陸大学 医療保健学部 教授 油野友二先生にお願いした。ランチョンセミナーでは富士レビオ株式会社とシスメックス株式会社をお願いした。市民公開講座ではエスアンドエイチコンサルタント事務所 所長 永田 寛彦先生に講演して頂きました。

収支報告：収入の部：参加者97名で¥97,000円、資料集広告料11社で¥110,000円、ランチョン2社で¥100,000円、日臨技助成金¥50,000円で収入合計¥357,000円。

支出の部：資料集見込みで余分に作ってしまった事が反省点ですが250冊で¥192,780円、外部講師謝礼3名で¥100,233円、外部講師交通費3名で¥21,159円他支出合計は¥539,960円で収支は-¥182,960円となった。

以上の報告です。承認をお願いします。(松浦理事)

・今回の製本費は250部だったが実際どれくらいの配布になったのか？(浅野会長)

・配布は180部ほど。当初、100部は各施設に配布を予定し、当日参加の約100名(見込み)と岐阜医療科学大学の学生分、定時総会の人数も見込んで多めに発注した。弁当も含め参加人数の予測には苦慮すると感じた。(松浦理事)

・製本の印刷に関しての予測は難しく毎回多めに発注している。今後、過去のデータを参考に適正な部数を発注するように心がけたい。また、今回の資料も今後の参考にしていきたい。今回-18万円ほどだったが極端なマイナスではない。例年は十数万円のマイナス。(浅野会長)

・妥当な製本数としては180冊くらいだったのか？(川合会計部長)

・当初は180冊ぐらいたん安にしていたが、状況を考えて増やしてしまった。(松浦理事)

・180~200冊がたん安と思われる。(浅野会長)

・春季と秋季拡大研修会や県学会は各施設に定時発送する資料なため配布する分を考慮しないといけない。(松浦理事)

・各施設に配布する分と研修会参加者は1回100人ほどと思われる。今後学生は基本参加料を徴収しないので、資料集はWebにあげてダウンロードするように促していき、製本費を削減する方法も考慮してほしい。(浅野会長)

異議なし。以上承認された。

2. 第1回「第23回市民の健康広場」について

- ・平成30年7月11日（水曜日）第1回「第23回市民の健康広場」打ち合わせ会議を行った。開催日時は平成30年10月21日（日）、場所は大垣城ホール。
- 企画について：昨年同様血管年齢の測定、骨密度の測定の企画、機器に関しては手配済み。今年は認知症の測定として「物忘れ相談プログラム」を日臨技から借りる予定。血液検査についての説明はパネルを予定している。その他アンケート調査などを予定している。成人病予防に関するリーフレットやテッシュは手配中。参加技師は約14名で人選調整中。予算に関しては、収入：大垣市から委託金は¥30,000円、岐阜県臨床検査技師会から¥70,000円で合計¥100,000円。支出：人件費14名分で¥14,000円、交通費、食卓費で¥28,000円、機器使用料として¥56,000円、原材料費として¥2,000円、支出合計¥100,000円です。（外山理事）
- ・決算時に会議費も加えてください。会議費を加えた場合は約8~9万円の赤字でほぼ例年通りと思われる。血液検査のパネルについては、以前使用していたパネルもある。また、検査と健康展で使用する各分野の検査の説明の書いたポスターもあるので必要ならば技師会（事務所）使用してください。大垣での「市民の健康広場」での血液検査については、パネルかポスターを使用する事を検討している。以上異議等あるか？（浅野会長）

異議なし。以上承認された。

【飛騨地区より】

1. 平成30年度第29回市民健康まつりについて

- ・開催日時：平成30年9月23日（日曜日）の開催。7/12に高山市役所にて打ち合わせがあった。検査項目は①骨密度測定（ビーナス α）1台、②物忘れ相談プログラム検査1台。物忘れ相談プログラム検査は日本光電に貸し出しを依頼している。検査人数に関しては、昨年同様、整理券配布を予定していて①骨密度測定（ビーナス α）1台、②物忘れ相談プログラム検査①②を併せて午前90枚・午後90枚を予定している。スタッフ人数は、高山日赤病院と久美愛厚生病院で約10名を予定。実行委員（代表者）松本信子（高山赤十字病院）。予算案：機器貸出として、物忘れ相談プログラム；¥10,440円、骨密度測定¥10,440円。人件費1人1,000円×10名=¥10,000円、交通費に関しては現在未定。弁当代1人1,000円×10名=¥10,000円。お茶代1人100円×10名=¥1,000円。合計¥41,880円という予算となった。（松本理事）
- ・物忘れ相談プログラムは放射線技師会からも出展される。今回当技師会は、物忘れ相談プログラムを日本光電から有償で借りるが、日臨技からのレンタルの場合は無償となる。しかし、人気があるため日臨技からレンタルを希望される場合は早めに申し込みをお願いします。予算案としては今回合計（¥41,880円）に交通費が追加される。以上異議等はあるか？（浅野会長）

異議なし。以上承認された。

2. 第57回岐阜県医学検査学会の進捗状況について

- ・常務理事会での進捗状況に訂正があります。教育講演の講師は鈴木康先生（下呂温泉病院院長）の誤りでした。
- ・第57回岐阜県医学検査学会開催日は平成31年3月31日（日曜日）午前9:00受付、午前9:30より開催。前日より実務委員の準備。当日3月31日（日曜日）午前9:00受付開始（スタッフ8:30集合）場所は星雲会館（下呂市萩原町）に変更。（長谷部副会長）
- 実務委員役割分担について、学会長：黒木 康則（高山赤十字病院検査部技師長）、実行委員長：藤木 誠（下呂温泉病院臨床検査部副技師長）、事務局：熊崎 幸代（下呂温泉病院）、実行委員：長谷部 正仁（下呂市金山病院）、松本 信子（高山赤十字病院）他。第1回目の実行委員会は9/5に実施予定。教育講演：鈴木康先生（下呂温泉病院院長）。市民公開講座は赤梅尚子先生（あかうめ音楽教室主宰）「音楽と心の健康について」（仮）報告は以上です。（長谷部副会長）
- ・今後、プログラムと予算等報告をお願いします。（浅野会長）

【中濃地区より】

1. 平成30年度秋季拡大研修会について

・11月18日(日)に開催を予定している。日時：平成30年11月18日(日)9:30~14:40(受付9:00)会場：岐阜医療科学大学 早緑ホール。

メインテーマは未だ決まっていない。「(仮)がんゲノム医療」。この日にちが日本臨床細胞学会と重なってしまっている。講演として、染色体・遺伝子部門 講師：公益財団法人 田附興風会 医学研究所 北野病院 認定遺伝子カウンセラー 大瀬戸久美子先生。病理細胞部門は東海中央病院検査部長・緩和ケアセンター長の川端邦裕先生を予定している。消化器内科や病理医も経験されているため、先生の経験を含めたゲノムの講演を予定している。講演内容は今後検討する。市民公開講座は2005年日本国際博覧会記念災害救急医療研究財団 牛田尊氏(講師料¥20,000円を予定)講演テーマ『(仮)あなたの勇気で守れる命がある』。ランチョンセミナー講演募集件数2件、アークレイ・マーケティング㈱、アボットジャパン㈱を予定している。広告掲載に関しては約10件を予定しているが、5件ほどしか予定できていないため声掛け等協力をお願いします。実行委員長：川合直樹(可児とうのう病院)、事務局：中村考博(鷺見病院)。実行委員は中部圏支部医学検査学会のスタッフを中心に選定している。予算書に関して、印刷・製本の部数は過去の実績を元に部数を検討した。会場費は岐阜医療科学大学のご厚意で無料だったが、臨時の警備費が¥30,000円ほど必要という事だった。(川合会計部長)

・今回は病理と遺伝子部門が担当となる。市民公開講座も興味深い。研修会は11月中旬のため案内書を9月の定期便で発送したいので、今理事会である程度了承を得る必要がある。ただ予算書の印刷・製本代に関しては、基本相見積もりを取り見積書を提示しないとイケない。9月の常務理事会で提示をお願いします。ランチョンセミナーの2社(アークレイ、アボット)も承諾を得た。(浅野会長)

異議なし。以上承認された。

## 2. 第58回中部圏支部医学検査学会について

・日時：平成31年10月12・13日(土・日)、場所：長良川国際会議場。実行メンバーについては今年度からの新理事から選出した。今理事会後にポスターに使用する写真の選定と会議の日程について検討をする。(乙訓理事代理)

### 【東濃地区より】

1. 議題なし。

### 【学術部より】

#### 1. 平成30年度 新人サポート研修会 学術報告

・決算書：収入の部合計¥255,000円、支出の部のテキスト集に関しては、学生の参加人数も読めない事もあり150部の不足がありコピーで代用した。収支は¥-221,280円(例年通り)となった。(渡邊学術部長)

・収入の部に関しては、昨年までは広告協賛を取っていたが今年取っていないため10万円ほど収支は少なくなっている。支出に関しては、テキスト集が多めに印刷したため20万円強、食卓費は学生が多かったため7万円ほど上回った。来年度に向けて、テキストに関して学生はダウンロードを考えている為、事前にWebにあげる前提で進めていきたい。食卓費に関しては、中部学院大学には¥1,000円/人徴収したが良案ではないと思われるので、徴収しないならお弁当はなしという案も考えられるので、来年検討していきたい。決算として今回は-20万円ほどという事でした。(浅野会長)

異議なし。以上承認された。

#### 2. 平成30年度 都道府県技師会リーダー育成研修会について

・平成31年2月10日に都道府県技師会リーダー育成研修会を企画中です。参加予定人数は昨年同様24~30人。目的として、技師会の事についてや、今後の企画に対しての取り組みや、日常業務にも活用できる事などを考えている。1日での開催で、内容としては日臨技の取り組みや次の(臨床検査技師の)リーダーに望まれている事を学び、また、岐臨技の取り組みを浅野会長から話していただく。これらの話を元にして自分自身が技師会等の活動の中で活かしていくかを学ぶ。講演は富士ゼロックス総合研究所の講師を予定している。予算として、

参加費は¥2,000 円/人×30 名予定。助成金：30 名×500 円=15,000 円+定額 2 万円=35,000 円。講師料は富士ゼロックス総合研究所 20 万円+交通費概算（3 万円）。（森副会長）

・通常こういう研修会を行うと 20 万円～40 万かかるので、お値打ちな価格の講師料と思われる。今回人材育成部で会議をし、プレゼンをして吟味をした。前年度の岐臨技の収支は 170 万円ほどの黒字であったため、20 万円ほどの支出は問題ないと思われる。

異議なし。以上承認された。

3. 岐臨技 HP（学術部サイト）運営の為の、ノート型 PC と Pocket WiFi 購入申請について  
・現在学術部での問題点として、技師会の PC に不具合が生じている。また、HP を担当している西美濃厚生利院の棚橋さんから、今までは各病院施設の PC を用いていたが、セキュリティ的な問題などで病院施設の PC 環境を使用続けるのは困難な状況となっている。前回の常任理事会にてノート型 PC と Pocket WiFi の見積もりを挙げ承認された。Pocket WiFi に関しては、Y!mobile 月々 2,678 円（法人契約）で月々の支払額は何年経過しても上がりません。PC との同時購入での格安プランなどはないと報告を受けている。（渡邊学術部長）

・岐臨技の HP の学術のページに関しては、学術部スタッフに担当してもらって掲載している状況のため、作業の頻度は高いと思われる。また、各病院施設に PC はあると思うが、技師会の活動に対して病院施設の PC を使用することは本来の形からすれば最善ではないと思われるため今回の提案となった。PC に関しては¥118,800 円、WiFi 月々 2,678 円（年間 3 万円ほど）（浅野会長）

異議なし。以上承認された。

・技師会の備品のため学術部のみの使用ではなく、他部門も使用できる体制を整えてほしい。普段の使用は西美濃厚生利院の棚橋さん。技師会として PC 使用を使用したい場合は、棚橋さんか学術に問い合わせしてください。（浅野会長）

4. 第 19 回日本検査血液学会学術集会において当技師会の森川さん（木沢記念病院）が優秀ポスター賞を受賞された。浅野会長と検討し会報に載せる提案となった。（渡邊学術部長）

・日本検査血液学会学術集会は共催もしており、当会員が表彰されたという事なので会報に載せ会員の刺激になればと思う。また、森川さんにも一言もらい会報で紹介したいと思う。技師会からの記念品はない。このように会員が表彰された場合には会報等で紹介したいため、連絡をお願いします。（浅野会長）

5. 研修会について

・平成 30 年 11 月 3～4 日（土祝日・日）に金沢において日臨技中部圏支部臨床微生物部門研修会が開催される。HP にも掲載されている（渡邊学術部長）

・平成 30 年 12 月 8 日（土）～9 日（日）に富山において、平成 30 年度日本臨床衛生検査技師会中部圏支部 第 34 回臨床血液部門研修が開催される。パンフレットも配布されている。（渡邊学術部長）

・平成 30 年度日臨技 中部圏支部医学検査学会[第 57 回]／平成 30 年 11 月 24 日（土）・25 日（日）／会場：三重県文化センターも HP に掲載されている。学術部から座長を 6 名選出した承も得ている。（渡邊学術部長）

・中部圏支部医学検査学会終了後に座長と発表者の一覧を実績として紹介をお願いします。（浅野会長）

6. 今回、超音波検査士対策基礎講座について

・超音波検査士認定試験の日時が変更になってから、基礎講座が激減しております。そのため、受験する方々の勉強会の場がなく困っておりました。つきましては、そのような場が提供できないかと思ひ企画した次第です。講師・会場とも費用がかかるため、多くの方に参加していただきたく岐阜県臨床検査技師会のお力をお貸し願えればと思ひます。参加費は ¥3,000 円/人で定員は 50 名。収入は 15 万円ほどを見込んでいる。（森（晴）監事）

・開催日が 30 年 9 月 1 日（土）だったため、案内の発送を考慮し前回の常務理事会で了承を得て後援の許可をした。今後も超音波検査士対策基礎講座は続くのか？（浅野会長）

- ・単発ですが、来年度も開催する可能性はある。（森（晴）監事）
- ・技師会主催ではない講習会の認識。各施設に案内が届いていると思われるので、該当者がいた場合には受講を勧めてください。（浅野会長）

#### 7. 平成 29・30 年度認知症対応力向上講習会 B について

- ・平成 30 年 7 月 29 日（日）に澤田病院にて平成 29・30 年度認知症対応力向上講習会 B が行われた。岐阜県、他県を含め 10 名の参加があった。8：00～18：30 で実施。認知機能の検査などかなり濃厚な講習会だったが、実技の講義を受けて実習を行う内容のため参加者は積極的に実習もされ内容的にはとても良かったと思う。受講料（¥4,000 円）に関しては、お弁当付きでは安いや妥当という意見があった。今後の試験に関しては、試験の過去問がないため、出題問題をヒヤリングして積極的に資格取得のサポートをしたいと思う。この講習会は単発なため、資格を取得する場合には各県での開催や学会等の講習会などで、点数を取得し受験資格を得てほしい。（森副会長）
- ・当初は 15 名程度の受講の予定で今回 11 名の応募があったが 1 人欠席（体調不良）で 10 名での受講となった。単発開催ですが、来年度あれば積極的に開催したい。なくても部門での研修会で企画ができれば行っていきたい。（浅野会長）
- ・収支は、収入：受講料収入総額¥40,000 円（¥4,000×10 名）、支出：企画担当者費用¥18,600 円、技師会役員など費用¥1,000 円、昼食代¥13,860 円、お菓子代¥950 円で支出合計¥34,410 円。資料や機器は日臨技から提供のため費用はかからなかった。日臨技からの助成はなし。赤字にはなっていない。（森副会長）

異議なし。以上承認された。

#### 8. 多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会について

- ・日本赤十字病院の武藤さんが中心となって進められている。「検査説明相談ができる臨床検査 技師育成事業」の継承事業となる。国民の医療に対するニーズの多様化、複雑化により臨床検査技師の職域も検査室から外来や病棟へと、より患者の身近での検査業務が求められるようになってきた。認知症患者に対するコミュニケーション・患者心理と家族とのコミュニケーション・薬・栄養など幅広く学ぶことができる企画になっていて、座学・実技もあり 2 日間に亘り開催される。参加費はテキスト代として¥1,000 円徴収する。募集の締め切りは平成 30 年 8 月 20 日。8/10 現在 5 名の募集がある。開催期間は 3 年間の継続事業として、3 年間で日臨技会員の約 1 割の受講者を目標に掲げている。受講対象として「検体採取等に関する厚生労働省指定講習会」を受講したものとなっている。積極的に案内をして参加申し込みをお願いします。（森副会長）
- ・3 年間の継続事業となり、1 回当たり 30 人を設定値としたい。現在は大垣市民病院から 3 名。須田病院と一宮西病院から各 1 名の応募がある。チーム医療はこの病院でも関係してくるので積極的に参加を促してください。これからの事を考えると若いスタッフでもよいと思うので積極的な参加をお願いします。少ない場合は理事に募集のお願いをする。（浅野会長）

#### 9. 臨床一般部門・微生物部門合同研修会について

- ・臨床一般部門・微生物部門合同研修会を開催するにあたり外部講師を招くことになった。（渡邊学術部長）
  - ・各部門単独開催ではなく、今回のようにコラボ企画も非常に良いと思うので今回の企画を参考にしてください。今研修は県内の講師だけではなく、天理医療大学から講師を招く事になった。略歴からは非常に資格も多く、学会活動も盛んな先生。予算書では、収入は¥40,000 円の見込み、支出は¥49,716 円と約 1 万円の赤字と妥当な予算計画となっている。（浅野会長）
- 異議なし。以上承認された。

#### 10. 日臨技中部圏支部生物化学分析検査研修会について



- ・12月に開催される日臨技中部圏支部生物化学分析検査研修会は岐阜が担当になっていて、石田さん（岐阜大学病院）から支部長（山本三重県会長）と副支部長（浅野岐阜県会長）に挨拶の依頼があった。（渡邊学術部長）
- ・中部圏支部生物化学分析部門の部門長と通して依頼をお願いします。また、岐阜での開催のため多くの参加をお願いします。（浅野会長）

#### 【精度管理事業部より】

##### 1. 平成30年度8月 精度管理事業部報告について

今年度計画：年間予定

設問締切り：8月16日

第1回会議（設問確認作業）：8月17日

試料発送（岐阜市民病院）：8月26日

試料発送作業 日時・会場：8月26日、岐阜市民病院（看護学校講堂）

参加者：午前から8名、午後から11名（合計19名）

作業内容：午前中に採血・分注（CBC HbA1C）、2検体（2名）

午後に梱包、配送作業

採血の立ち会い医師への謝礼として¥5,000円相当のお菓子（昨年から）

今年度参加状況：参加数は78施設。基本料金にチェックされていない施設があるため昨年同様79施設と高い参加数で推移している。8/17に会議を実施するために事務所の鍵を借り受け中です。精度管理調査の案内として「平成30年度岐阜県臨床検査技師会精度管理調査についてお知らせ」を8月20日頃発送予定です。

経費状況（試薬）：スズケンとアルフレッサで相見積もりを取った。アルフレッサの方が安価のためアルフレッサで購入となった。

臨床化学の資料として日臨技の資料を使用するが日臨技生化学検査試料の送料の計算違いで、¥18,360円の返金があった。（佐藤精度管理部長）

- ・例年通りと思われる。（浅野会長）
- ・極力経費は下げるように努力している。（佐藤精度管理部長）
- ・昨年度170万円ほどの黒字であったが、ちょっとしたことで赤字に転じることもあり得るので、企画時には考慮し経費はなるべく削減する工夫をお願いします。（浅野会長）

#### 【組織調査部より】

1. 「検査と健康展」が12月2日（日）に実施される。日臨技より配布物の準備ができたためメールがあったので、8月31日以降に事務局にリーフレット等が届く予定。助成金が50万円7月31日に入金された事を事務局が確認した。物忘れプログラムも今回実施するので機器を日臨技からレンタルする。各部門長あてに催しの内容やスタッフ、予算など8月末までに確認をする予定です。11/3、11/17にHIVの啓発活動がある。まだ県より資料が着いていないが、岐阜地区と西濃地区に依頼をするので担当者が決まり次第連絡をお願いします。（澤野組織調査部長）

・「検査と健康展」に関しては資料ができましたら提示をお願いします。HIVに関して、11/17の岐阜経済大学は毎年西濃地区が担当していて、今年度も西濃地区でスタッフを選出する。スタッフが決まり次第連絡します。11/3は会場がハートフルスクエアGで岐阜地区のため岐阜地区で担当してもらっている。岐阜地区よりスタッフの選出をお願いします。（浅野会長）

・しみずさんの話では、毎年、山本初津恵さんの協力のもと東海学院大学の学生がスタッフとして参加しているとの話だった。（森副会長）

・しみずさん、山本さんに連絡を取り確認・調節します。（澤野組織調査部長）

#### 【広報宣伝部より】

1. 特にない。広報は先月各施設に届いていると思う。（乙訓代理）

#### 【渉外部より】

#### 1. H30年8月理事会報告について

・県への代表理事の変更が7/27完了した。毎年行っているが、定期総会（6/10）終了後に総会で承認された公益目的支出計画実施報告書を6月16日に岐阜県へ電子申請した。8/1修正連絡をいただき8/2に修正を提出し8/6完了した。H29年度末日の公益目的財産残高は¥8,473,004となっている。年の支出が計画通りだったので、公益目的支出計画の完了予定事業年度末日は変更なしのH36.3.31となっている。（柴渉外部長）

・代表理事の変更に関して本来は6月末までに提出しないとイケない。今回は7月に入ったことで数千円課金された。できる限り期限内に手続きを終了したいと思う。例年6月初旬に総会を行い、その一週間後に理事会で役員（執行部）の選出を行っているが、届出期日まで2週間程度しかないタイトな状況。次の役員改選時には総会後に理事会を開催して、役員・執行部等を決定し速やかに届出をしたいと思っている。今後議題に挙げ協議したいと思う。公益目的財産残高は昨年より80万円ほど減少した。これは法人化になる前に所有していた資金を、法人化後公益目的に使用し消化しなければいけない資産。今後このような資金を6~7年間で0にしないといけない。今のところ順調に進んでいる。（浅野会長）

#### 【会計部より】

1. 会計部では会計処理が適切に行われているか突合せを行っている。8/1に事務所で6月分の会計確認を行い適切に処理されていた。6月は春季拡大研修会が主に経費を占めている。次いで臨床微生物、臨床一般、精度管理試薬など。（川合会計部長）

・今年度経常費用計は360万円ほど（6月まで）、年度間予算としては約1300万円。四半期で考えると妥当と思われる。昨年は、予算が約1200万円で、四半期で比べると今年度より60万円ほど安い状況だった。今年度は約60万円高く240万円/年となり、昨年度の黒字170万円が無くなり赤字に転じる事も予想される。今年度（6月まで）の支出をみると、新人サポート研修では食卓費が6万円多かった。これは学生の状況等もあるし、継続される支出ではないが今回に限っては高かったと考えられる。給与支払い（事務局スタッフの給与）も昨年度に比べ9万円ほど高いが時間外によるもの。非常に多忙のため正規の時間には終わらない事が原因で今後も継続されると予想される。配送料に関しては選挙等があったが毎年、毎月かからないため今回限りの支出。消耗什器備品費は約72,000円で、大型のシュレッターと一太郎のソフトの購入費で単発的な支出。以上の事から継続でない単発のものが多い。注意すべきは給与支払いで約30~40万円/年の増加になる可能性がある。微生物の研修会も昨年に比べ今年度は時期が早いための支出（約14万円）がある事も要因。以上のような推移です。楽観視はできなく事によっては赤字に転じる事も考えられるので、支出に気を配ることも理事の務めと思うので注意をお願いします。（浅野会長）

#### 【その他】

##### 1. コスタ岐阜県庁前管理組合題26期第2回理事会について

・6月26日（火）にコスタ岐阜県庁前管理組合題26期第2回理事会が開催された。

・共用部の日常清掃について：管理業務受諾者より、マンション共用部の庭（広場）の雑草の駆除、蜘蛛の巣、鳥の巣の駆除の実施の要望が入居者より寄せられているとの報告がなされた。現在、管理委託契約内の清掃はエントランスホール、エレベーターホール、階段・踊り場の床面清掃及び、共用扉のちり払い・拭き掃除を毎月、エントランスポーチ、エントランスアプローチの床清掃を2か月に1回実施しているが、要望のあったマンション共用部の庭の雑草の駆除、蜘蛛の巣や鳥の巣の駆除はこれまで行っていないとの説明がなされた。このような日常清掃を毎月実施した場合どれくらいの費用がかかるのか、また、マンション共用部の庭（広場）の雑草の駆除などをスポットで年に1回程度行う場合はどれくらいの費用が発生するのか、それぞれ見積もりを取得して検討を進めることとした。



・管理費未納者に対する「入金勧奨」のショートメッセージサービスの導入について：管理業務受諾者より、1か月未納者に対して電話で行っている入金勧奨業務に関して、携帯電話番号の届け出を頂いている方に対しては電話連絡に併せて、ショートメッセージを利用した「お知らせ」を送信する旨報告がなされ、本会にてこれを確認承した。

・長期滞納者に対する督促について：管理業務者より、前回理事会で確認された2名の管理費等の長期滞納者に対する内容証明を送達する件について、弁護士事務所への依頼書面をもとに、1件につき5,000円(税別)の費用が発生する旨の説明がなされた。本会で検討した結果、手続きを進める旨確認がなされた。

・エレベーターの補修について：管理業務受諾者より、5/25のエレベーター点検の際、指摘事項があげられており、今後の法定検査の是正項目にあたる部品の交換が必要との説明がされた。これについて検討した結果、日々利用するものであり、マンションの資産評価にも係る付帯設備であるため幸治を実施することとした。なお、工事費用見積もりについては、あらかじめ管理業務受諾者より理事長に提出し確認後工事を行うこととした。

以上がコスト岐阜県庁前管理組合題26期第2回理事会の内容です。(後藤庶務部長)

2. 前回の会報にも記載したが、技師長連絡協議会(仮称)という会を実施したいと思っている。技師会を運営していくにあたり各施設から協力を得る事が必要と思われる。それにあたって技師長の理解を充分得られた中で進めていきたいし、技師会がどういう方向に進んでいるのかなどを説明し理解をしてもらいたいと思う。技師長同士、執行部同士などの情報共有を含め組織強化を行っていききたいと思う理由もある。どこかで集まる機会を得たいが、前回の兼子会長の時は飲み会を兼ねながらという企画をした。しかし、なかなか集まりが良くなかったため、どこかの研修会等を利用した形で企画したいと思っている。精度管理報告会の前後で時間を取れればと思っている。一度検討をお願いします。年に1回ほどで開催したいと思っている。精度管理報告会が難しいなら、県学会や定時総会や春季拡大研修会の時などを利用したいと思う。また、以前宿泊研修会という企画があった。懇親会等を兼ねながらは現在は難しいかもしれないが、レクレーションのような事を企画したいという案も出ている。若い世代は自分の世界を持っていてコミュニケーションに理解されない方も多中で、企画倒れになってはいけませんが次回以降議題に挙げて前向きに考えていきたいと思うので意見を挙げてください。(浅野会長)

議長	浅野 敦	
議事録署名人	森 晴雄	
議事録署名人	糸山 里美	